

2020年6月9日
世界自動車調査月報編集長 安藤 久史

世界自動車販売予測、2020年は2割減の7,100万台規模

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、当社の調査・出版業務にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、当社では『FOURIN 世界自動車調査月報』2020年6月号（2020年6月10日発刊）にて、「2020年世界自動車販売予測」をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内申し上げます。

- 2020年の世界販売が前年比22%減と、2割を超える減少幅となる見通し
- 日本や中国、韓国など東アジア諸国の下げ幅が比較的小さい
- 各国政府による景気刺激策で減少率の下げ幅をどこまで抑えられるかに注目

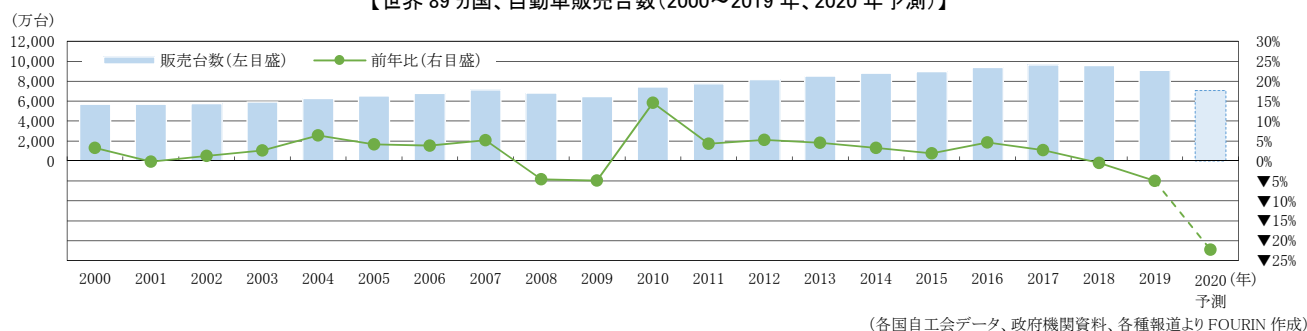
FOURINは、世界89カ国を対象に2020年の自動車販売台数を予測したところ、前年比22%減(約2,000万台減)の約7,100万台規模となる見通しとなりました。新型コロナウイルス感染拡大が自動車産業界に与える打撃は、中国が世界市場を牽引したリーマンショック時(2009年世界販売:前年比4.9%減)よりも深刻となる見込みです。今回は、感染症による経済活動の停止という側面があり、牽引役となる国が見当たりません。しかし、日本や中国、韓国など東アジア諸国の下げ幅が欧米諸国に比べ比較的小さく留まる模様で、世界自動車産業を下支えする立ち位置となることが期待されます。更に、各国政府が景気刺激策を打ち出しており、2020年下期以降の需要をどこまで下支えできるかにも注目しております。

ご参考までに、『FOURIN 世界自動車調査月報』2020年6月号に掲載します「2020年世界自動車販売予測」のグラフを下記掲載いたしました。

当プレスリリース内容に関してのご不明な点やご質問は、「FOURIN 世界自動車調査月報」編集長の安藤(TEL:052-789-1143、E-mail:h.ando@fourin.com)までご連絡ください。

敬 具

【世界89カ国、自動車販売台数(2000~2019年、2020年予測)】



営業部より：7月20日完成予定の調査報告書「新型コロナの世界自動車産業への影響と回復シナリオ」では、さらに詳細な情報やデータを収録いたします。www.fourin.jp/report/TheImpactofCOVID_19GlobalAutoIndustry.htmlからお申し込みください。費用はかかりません。詳細は(TEL:052-789-1101、E-mail:info@fourin.jp)まで。